

## 2019年度（令和元年度）第1回福山・笠岡地域公共交通活性化協議会 福山地域部会 会議録（要旨）

### 1 日 時

2019年（令和元年）7月25日（木）9:00～9:40

### 2 場 所

福山市役所 3階 小会議室

### 3 出席者

#### (1) 委員（16名）

渡邊一成委員，大谷琢磨委員，川上富美子委員，今岡俊之委員（代理 柳川知輝），山田和孝委員（代理 佐々木英穂），渡邊寛人委員，田淵博雄委員，神原昌弘委員，吉本伸久委員，久保聡志委員（代理 小林一成），藤本悌弘委員（代理 鳥越肇），村上亨委員，山田康文委員（代理 後藤宏暢），岡本哲典委員，寺尾直樹委員（代理 百合野博司），植田 文一委員

#### (2) 随行者（2名）

#### (2) 事務局（4名）

神田都市部長，住吉都市交通課長，栗原課長補佐，高村主事

#### (3) 傍聴者（4名）

### 4 会議の成立

委員20名中，代理出席を含め16名出席で，委員の過半数が出席しているため，規定により会議が成立

### 5 協議事項

#### (1) 議事

①服部地区への乗合タクシー導入について

### 6 資料

- ・次第
- ・委員名簿
- ・配席図
- ・2019年度（令和元年度）第1回福山・笠岡地域公共交通活性化協議会 福山地域部会 会議資料

### 7 協議内容

#### (1) 部会長挨拶

おはようございます。選挙も終わりました。次なる焦点は10月の消費税増税のタイミングで政府はキャッシュレスをして，ポイントをつけるというサービスをスタートさせるということにあります。身近なコンビニエンスストアでキャッシュレス化がかなり進んでいくことになると思っています。我々の生活改善という共通の観点からすると，タクシーの配車も決済もスマホでという，そういうサービスがキャッシュレスの先にあるのですが，実はその先に公共交通のMaas「Mobility as a Service」いう移動サービスが展開されています。電車に乗って，バスに乗ってという手配が一度で済みます。今後，協議会でもMaaSの検討を進めていければと考えています

ので、みなさまどうぞよろしくお願ひ致します。

## (2) 議事

### ①服部地区への乗合タクシー導入について

事務局：資料により説明。

部会長：ご意見、ご質問等がございましたらお願ひいたします。

委員：共同配車のメリットと3往復という運行計画について、お考えを教えてください。

事務局：共同配車のメリットですが、服部地区は福山市の北部地域で市街化地域から少し離れた地域であります。少ない車両しかない地域において、需要をまかなうために、複数の事業者の協力を得る中で運行をできることが最大のメリットだろうと考えております。また、経常経費について、現在いろいろな地域で行われている乗合タクシーについては専用車両を用意し、その車両で運行という形をとっていることが多いのですが、車両の固定費が必要となります。今後、持続可能な手法として、その固定経費の削減をするということで、より効率を上げるという考え方のもと、この方法を考えたところでございます。

日に3往復ということにつきましては、乗り合いをすすめるという観点のもと、目標としての時間帯を設定して、その時間帯は既存の大量輸送ができるJR福塩線や中国バスの府中線とつなげていくということで、より利便性を高めるという考え方のもと設定しています。

部会長：利用者の制限、例えば高齢者だけなのか、また、事前登録が必要なのか教えてください。

事務局：利用者についての制限は設けません。事前の登録は必要とさせていただきたいと思っております。事前登録については乗降場所の適否や、実際に乗る時間を予約者に返信をいたしますが、登録していただくことによってより円滑な運行ができるものとして、事前登録をお願いしているところであります。

部会長：配車の指示はダイヤの直前ぐらいに空いている車を見つけて、それに対して配車指示が出ると思いますが、そうすると利用する人はどうやってそれが乗合タクシーと見分けるのか教えてください。

事務局：車両につきましては、車両のドアの側面に「乗合タクシー」、「予約制」といったことをマグネットシートで明示することとしています。また、タクシー車両には車両の全部に「予約車両」や「迎車」とか、デコ表示をされるようになっております。そこに、「乗合」の表示も出すようにするというところで考えています。

部会長：予約者が5人以上になった場合はどうするのか教えてください。

事務局：実験でも4人の乗車定員を超えた場合は2台目を出しました。交通事業者の中から幹事社を設定しまして、ご協力をいただきながら進めていきたいと思っております。

副部会長：既存のバス路線よりも、今回の乗合タクシーになることで極めてドア・ツー・ドアに近い利便性の高いサービスにつながっていくという理解でよろしいでしょうか。

事務局：目的の一つに高齢者の移動手段の確保ということもあります。また、持続可能な運行方法ということも踏まえ、現行のバス車両では入れないところに車両をまわすといったところが大きな乗合タクシーの意義だろうと考えております。ドア・ツー・ドアとなると地理的な要因もありますので、ある程度、一定の乗降場所は設けたうえ

でと考えております。ただ乗降場所につきましては、地域に運営委員会を立ち上げていただきまして、地元のニーズを十分にとらえながら設定することによって、利用価値を向上させています。

副部長：随時利用状況をみながら見直しをしていうというのが非常に大事だと思いますので、なるべくバス停とかでも家の近くまで行ってあげられるようにお願いします。今回の新しいところはタクシー車両の空いている車両をうまく有効活用することで、営業経費を削減して、より持続可能性の高い運行をするということですが、こういった事例は全国で他にあるのでしょうか。

事務局：全国いろいろなところで乗合タクシーは運行されていてタクシー車両を使った乗合タクシーは存在します。ただ、共同配車という新たな手法をつかったものは全国で初めてであります。このことについて、実現できるのもモネ・テクノロジーズのシステムによって実現するというところであります。

副部長：実験ではアプリ予約が少ないということでしたが、何か利便性を高めることは考えているのでしょうか。

事務局：5月までの実験につきましてはアプリが開発途上ということもあり 아이폰のみでの稼働でしたが、10月にはアンドロイドにも対応できる予定です。利便性につきましては他の地域で実際に予約アプリが利用価値の高い利用ができるといった実験をできないものかと考えているところであります。

委員：事前登録制にあたって登録できるのは服部地区に住まわれている方限定であるとか、何か制限は設けるのでしょうか。

事務局：制限は設けません。ただ、乗降場所が限られておりますので、登録される方は一定の範囲に結果としては限られることになるのではないかと思います。

委員：登録のタイミングというのは電話予約と同時にできるようなイメージですか。それともあらかじめ登録された方が改めて電話予約をするというイメージですか。

事務局：実験のときもそうでしたが、事前にこういうことを始めますというチラシを会員登録の用紙と兼用して、その地域に配布することで周知を図りました。というのも登録するのに時間が必要なので電話で登録と予約を今の段階では一緒というのは運用的に困難であるためです。

委員：アプリのインストール方法を教えてください。

事務局：一般的なアップルストアやグーグルプレイストアの方に出てきますので、一般的なアプリと同様にストアからインストールしていただくという手順になります。

部長：それでは他にご意見もないようですので、挙手による決議に移らせていただきます。ただいまの服部学区への乗合タクシー導入についてご承認いただける方は、挙手をお願いします。

<挙手多数>

部長：ありがとうございます。挙手多数と認めますので、事務局提案のとおり承認することといたします。将来的にはほとんどの人がスマホユーザになるので、サービスもだいぶ変わっていくのではないかと思います。そういう意味では今回の取り組みというのはそういうことを先取りして取り組むということですので、ぜひ地区の方にもご利用いただきたいと思いますし、円滑な運用ができますよう交通事業者の方にもお願いしたいと思います。以上をもちまして、議長の役目を終わらせていただきます。委員の

皆様おかれましては、円滑な議事運営にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

それでは、進行を事務局にお返しします。

事務局：以上をもちまして、2019年度（令和元年度）第1回福山・笠岡地域公共交通活性化協議会福山地域部会、福山市公共交通会議を閉会いたします。どうもありがとうございました。

以 上